

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施 主体	事 業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	照井 孔誠	地域企画課	ゆざわ おがち 売込み班	奈良田 純	0183-73- 8191	県際連携事業（パ ンフレット作成）  平成23年6月 ～ 平成24年3月	昨年再開通を果たした 国道342号・398号 が、今年からフルシー ズを迎えることを契機 に、主に仙台圏のPRが 急務となっていること、 また東日本大震災により 大きな打撃を受け、観光 客の大幅な落ち込みを見 せている3地域の誘客を 進めるための、広域的な 観光情報を発信すること が求められている。 このため、最上・雄勝・ 大崎連携交流事業の一環 として作成している「東 北のへそ観光マップ」の 情報を更新して増刷。こ れを使用し、最上・雄 勝・大崎が連携して観光 PRを行うことにより、 3地域への観光客数増加 を図る。	378,000	直営	観光客の利便性を高めるため、 マップのサイズを大きくし増刷 した。作成部数10,000部。県内 外の観光物産展で配布し、PR した。	県	県民等	平成23年5月30日  平成24年11月1日	マップを工夫し、地域全体の情 報をわかりやすくPRすること で、より一層の地域PR・誘客 が図られた。	最上・雄勝・大崎連携交流事業 として、仙台圏へのエージェン ト訪問等を強化するなど、積極 的な取組を図っていく。
総務企画部	照井 孔誠	地域企画課	地域振興班	佐藤 淳一	0183-73- 8191	「ゆーとびあ情 報」広報推進事業  平成23年6月 ～ 平成24年3月	振興局の広報機能を強 化・補完するため、紙媒 体の「雄湯郷（ゆーとび あ）通信」の配布や地元ラ ジオ局「エフエムゆーと びあ」を活用し情報発信 を行う。 「雄湯郷通信」には、振 興局の施策や事業を掲載 し、市町村広報に差し込 みし、全戸配付する。 「エフエムゆーとびあ」 による情報発信は、各種 事業への参加募集のほか、 ラジオのリアルタイム性 を活用し、災害時などの 緊急的な情報提供など にも随時対応できる形 で活用を図る。	681,050	直営	1 雄湯郷通信発行 年4回発行し、全戸配布及び 関係機関へ配布 (印刷部数 25,000部) 2 エフエムゆーとびあ（ラジ オ放送）の活用 FMゆーとびあと単価契約し 情報提供を実施 読上形式：68回 振興局実施イベント等の案 内、雪に関する注意喚起等	県	県民等	平成23年5月30日  平成24年11月1日	振興局が実施した重点事業の 紹介やイベント案内、除雪によ る事故防止や除排雪への協力の 呼びかけ、イベントの告知など を紙面や地元ラジオ局の活用 し、広報したところ、多くの問 い合わせや申請窓口への来客数 が増加するなど、地域に密着し た県民に関心を持たれる情報媒 体として機能を果たした。	雄湯郷通信は、発注から編 集、印刷、配布まで1ヶ月程度 かかり、タイムリーな話題が提 供しづらいことから、紙面サイ ズの縮小やホームページを活用 するなどの見直しを行う。ラジ オによる情報発信は、平成23 年度と同様に各種事業への参加 募集、ラジオのリアルタイム性 を活用し、災害時などの緊急的 な情報提供などにも随時対応で きる形で活用を図る。
総務企画部	照井 孔誠	地域企画課	地域振興班	佐藤 淳一	0183-73- 8191	湯沢雄勝まるごと PR事業  平成23年8月 ～ 平成23年10月	県内外から多数の来場 者が見込まれている「全 国まるごとうどんエキ スポ」において、会場内 に湯沢雄勝の地場産品、観 光情報、振興局で推進し ているエコ普及事業など を販売・紹介するブース を設置し、さらに西馬音 内盆踊りなどの郷土芸能 を披露し、県内外からの 来場者に湯沢雄勝をまる ごとPRする。	1,000,000	委託	1 ブース設置 ・太陽光パネル・ペレットス トープの展示及び説明 ・湯沢雄勝地域の観光パンフ レット配布及び説明 ・日本ジオパーク認定を目指す 湯沢市の取組をパネル展示及び 説明 ・りんご、こまち麺（米粉麺） のカレーうどんなど、湯沢雄勝 管内の農産物等を使った料理の 試食 ・管内の物産業者による管内の 特産品の販売 2 ステージイベント ・来場者歓迎セレモニー ・西馬音内盆踊り、路上パオー マーによるパフォーマンス等 3 広告宣伝等 ・テレビCM、新聞広告、タウ ン情報誌	県	全国まる ごとう どんエキ スポ来場者 等	平成23年8月1日  平成24年11月1日	「全国まるごとうどんエキ スポ」の来場者は2日間で7万人 となった。多くの来場者がブ ースやステージイベントに足を 止めていただき、湯沢雄勝の魅 力をPRできた。	平成24年度においても、来場 者に湯沢雄勝地域の魅力をPR していく。

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金 ・直営	事業実施状況	事業実施 主体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	照井 孔誠	地域企画課	ゆざわ おがち 売込み班	佐藤 淳一	0183-73- 8191	観光振興機能合体 組織設立準備事業  平成24年2月 ～ 平成24年3月	4月に設立される観光 振興分野における県と市 町村との機能合体組織 「湯沢雄勝広域観光推進 機構」の設立に向けた準 備及び協定締結式開催を 開催し、機能合体組織の 名称等を広報する。	178,517	直営	3月26日「湯沢雄勝広域観光 推進機構」設立協定締結式 管内観光物産団体等の出席の もと、知事及び各市町村長によ る設立協定式を開催した。	県	県民等	平成24年2月20日  平成24年11月1日	協定式の模様はマスコミに取り 上げられ、多くの県民や観光関 係者等に機構の存在をPRでき た。	なし。
総務企画部	照井 孔誠	地域企画課	ゆざわ おがち 売込み班	奈良田 純	0183-73- 8191	ゆざわおがち元気 創造事業  平成23年6月 ～ 平成24年3月	東日本大震災により被 災した地域の復興を応援 するとともに、風評被害 や自粛ムードによりダ メージを受けた観光業を 始めとする管内企業の振 興を図り、地域に笑顔と 元気を取り戻す。	1,406,123	直営	1 誘客イベントの実施 ①6月19日 「ようこそ、 春の栗駒へ」(須川高原、小 安峡ほか) ②10月14日～30日 「ようこそ、秋の栗駒へ」(須 川高原、小安峡ほか) 管内市町村、関係団体と協 働し、国道342号、398号 再開通1周年記念イベントと して実施。被災した県外の市町村 などの参加も得て開催。 2 キャンペーンの実施 ①秋田湯沢雄勝でリフレッ シュ!キャンペーン 第1弾 8月～10月 第2弾 12月～1月 管内宿泊施設に1泊2日 予約申し込みした宿泊客を対象 に、仙台圏から無料送迎バスを 運行(夏季5本、冬季1本)し たほか、抽選で地域の特産品プ レゼントも実施。	県	県民等	平成23年5月30日  平成24年11月1日	1. 誘客イベント 個別に各地で開催されていたイ ベント等を一体化して実施し、 PRすることで、新聞掲載など露 出が増え、別途実施した仙台圏 向けの新聞広告掲載などと合わ せ、相乗的なPR効果が高まった。 また、周辺地域の情報も盛り込 んだこともあり、栗駒山麓地域 全体の周遊もより一層進んだも のと思われる。 2 キャンペーンの実施 キャンペーンの広告を仙台向け の新聞に掲載したこともあり、 秋田県の観光情報への問い合わせ が増し、リピーターも出来た 事から、雄勝地域の観光情報を より多くの方に知っていただけ たと思われる。	平成24年度以降は、県と市町村 とが一体となって観光施策を行 う湯沢雄勝広域観光推進機構 が、より地域全体が一体となっ た誘客活動に取り組んでいく。